

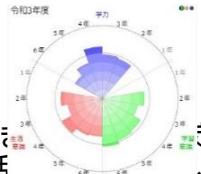
# 学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
授業改善		①重点研究テーマ「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」にそって授業改善に取り組む。 ②一人一人の基礎・基本の定着に向けて、指導の工夫・改善を目指す。 ③読書の大切さを伝える取り組みを行う。
担当	研究・研修	

## 学力向上に関わる本校の状況

### (1) 学力に関わる児童の実態

横浜市学力・学習状況調査では、学年による差はみられるが、全体的に横浜市の平均を下回る結果の教科が多い。教科別に見ると、国語・社会・理科に大きな差はないが、算数がやや下回っている。特に、空間や図形の認知に課題が見受けられる。国語では、基礎・基本は平均的であるが、自ら理解したことに基づいて考える力に課題が残る。また、学習意識や生活意識の低さが、学力に反映していることが読み取れる。学力層は、年々増加傾向であった学力層C・Dである下位層の児童が多く、学力層Aの児童は少ない。



具体的取組の一つとして、引き続き、朝学習の時間の充実した活  
.. 反復練習に積極的に取り組んでいく。

本校の児童の傾向として、外国籍につながる児童の増加があげられる。学力以前に言葉の壁に阻まれ、十分な学習につながりにくい。また、これまでの学習の理解が十分でないため、該当学年の学習への取組に意欲が持てない児童も多い。

### (2) これまでの学校の取組状況

- 国語の重点研究にて、聞くことに焦点をあて、お互いの考えを伝え合う活動を進めてきた。
- 国際教室と個別の指導の充実と日々の授業の中で、既習事項の確認の時間を少しずつ充実させ、基礎基本の定着に力を入れてきた。
- 子ども達にとって、「魅力ある授業づくり」に取り組み、意欲的、そして主体的に学ぶことができる体制を整えてきた。
- 朝読書の時間や、ボランティアによる読み聞かせ、図書の時間の司書による本の紹介などを行い、読書の楽しさを伝えてきた。

## 今年度の目標

- ①重点研究テーマ「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」にそって、授業改善に取り組む。
- ②一人一人の基礎・基本の定着に向けて、指導を工夫し、やる気を引き出す授業を展開する。

## 目標を実現するための具体的行動プラン

### 上半期

- 横浜市学力・学習状況調査の結果を学年ごとに分析し、具体的な授業改善案を立てて、学習力向上につなげられるようにする。
- 単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした、授業づくりをする。
- 授業中に、本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、次時に向けて、子どもが主体的に学習へ向かう姿勢を習慣付ける。
- 重点研のテーマを「自己を進んで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」とし、国語科学習を中心に、主体的な学びを引き出す授業づくりに取り組む。
- 学校生活全般における「あいさつ」を大切に、人と豊かに関わるための素地を育成する。
- 本と出会う時間や、本の魅力を伝える時間を多く設定し、読書の楽しさが実感できるようにする。

### 下半期

- 横浜市学力・学習状況調査結果から立てた具体的な授業改善案を振り返り、学習力向上のための課題および改善案の確認をする。
- 単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした、授業づくりをする。
- 授業中に、本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、次時に向けて、子どもが主体的に学習へ向かう姿勢を習慣付ける。
- 重点研のテーマを「自己を進んで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」とし、国語科学習を中心に、主体的な学びを引き出す授業づくりに取り組む。
- 学校生活全般における「あいさつ」を大切に、人と豊かに関わるための素地を育成する。
- 本と出会う時間や、本の魅力を伝える時間を多く設定し、読書の楽しさが実感できるようにする。